



二小っ子

元気いっぱい やさしさいっぱい 本気でがんばる二小っ子

第3号

令和5年7月11日

天理市立二階堂小学校

文責 島田 宇一郎

SNS・ネットの危険性

子どもたちは、時折見せる晴れ間に大喜びで外遊びやプール学習を楽しんでいます。夏本番もうすぐです。

先日行われた青少年健全育成天理市民会議で天理警察署生活安全課長の長谷川さんの講演があり、その中で青少年のネット被害のお話がありました。保護者様にはご存じの方も多いと思いますが、最近では**被害の低年齢化**が進んでおり、**SNSによる小学生の被害が増加**しています。その**被害の入り口は、ほぼ全てがスマートフォン**によるものだそうです。SNSでつながった見ず知らずの相手に、自撮りの画像や個人情報を送ってしまい、それがもとで大きな事件につながる場合があります。スマートフォンを持たせる場合は、フィルタリングの設定をし、保護者による管理が重要だと話されていました。

昨今、SNS以外にも、子どもたちのオンラインゲームに伴うトラブルも増加し、社会問題となっています。(以下の事例は、私の経験上のものです) 特にバトルロワイヤル系(多人数が同時に戦い、最後まで生き残ることを目指す)のゲームでのトラブルがよくあります。この様なゲームは、ボイスチャット(相手と話す)しながらプレイできます。そのため、ゲーム中に気持ちが高ぶり、悪口や暴言を吐き、その結果、実生活の中での人間関係のトラブルにつながる場合があります。また、世間では、オンラインゲームで子どもが知らない人とプレイして親しくなり、呼び出されて事件に巻き込まれるという最悪の事態も起こっています。

顔が見えないため、簡単に**“なりすまし”**や**“誘い出し”**ができてしまいます。この危険性を保護者の皆様にも十分ご理解いただきたいと思います。

インターネットは大変便利な反面、私たち大人であっても様々な危険性があり、十分注意していないといつ被害に巻き込まれるかわかりません。まして、まだまだ経験が少なく、判断力と自制心が十分備わっていない小学生の子どもたちにとってはなおさら危険です。

保護者さんが不要になったスマートフォンを子どもに与え、家庭のWi-Fiにつないで使わせておられました。しかし、気づいたときには既に大変なことになっていたということがありました。子どもは好奇心が旺盛で、夢中になると危険性が分からなくなり、何の疑いもなく誘いにのってしまうのです。「まさかうちの子にかぎって…。」「まさかそんなことをしていたなんて…」ということが、実際に起こるのです。子どもたちのネットによるトラブルは、他人事ではありません。

小学校では学年が上がると端末の所持率は上がるものの、小学生では所持していない児童も多く、所持の必要性がない、まだ早いと考えるご家庭も多いです。ご家族間の連絡手段として必要な場合もありますので、何のために必要なのかということをよく考えていただきたいと思います。

不特定多数の人とつながるSNSや、相手の顔が見えない状態とするオンラインゲームは、特に注意が必要です。SNSやゲームの種類や内容、利用方法にもよりますが、その危険性を十分把握されたうえで、保護者の責任のもと、スマートフォン等の端末の利用をさせる、させないをご判断ください。させると判断された場合は、ルールや危険性などを親子で十分話し合うこと、また、保護者による見守りを必ずしていただきますようお願いいたします。

スマートフォンをはじめとする情報端末は、今や私たちの生活になくてはならないものになりました。学校でも教育のICT化が進んでおり、これまで以上に情報モラル(ネット利用のマナーや危険回避など)に関して学年に応じて指導し、将来にわたって正しく安全にネットを活用できるスキルと判断力を身につけさせたいと考えています。

子どもたちの健全な成長のために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

二階堂小学校ホームページ

子どもたちや学校の様子、毎月の行事予定を掲載していますので、ご覧ください。

